

【利用の仕方は?】

次の3つがあります。

- 「主催事業」に申し込み、家族や個人で参加する。
- 団体（学校、子ども会、企業など）で施設利用を申し込み、自然の家で活動する。
- 団体で「出前講座」を申し込み、スタッフの派遣を要請する。

【利用できる方・団体は?】

- 「主催事業」には、お一人から参加可能です。ただし、対象年齢等を設定する場合があります。
- 次の団体が、施設利用及び出前講座を利用できます。
→学校、幼稚園、保育園、子ども会、企業など

【利用を申し込むには?】

- ご利用される30日前までにお電話でお問合せください。申込書類は電話予約完了後に提出していただきます。

【経費は?】

- 18歳以上の方が利用する場合は、県条例に基づく使用料がかかります。 ●宿泊利用1泊820円 ●日帰り利用1回200円
- 無料の活動例
 - 登山 ●カヌー ●あきたアドベンチャープログラム（AAP）
 - 化石観察・採取 ●追跡ハイキング ●マップリーディング等
- 有料の活動例
 - 野外炊飯 350円 ●手打ちうどん 120円 ●防災体験食 180円
 - 自然素材工作 200円 ●宿泊用シーツ ●ろうそく ●マッチ
 - 薪 ●洗剤等の使用分等

※詳細については、ホームページ掲載の利用の手引き「夢のアトリエ」でご確認ください。

令和8年度 スタッフ



スタッフにはキャンピングネームがあります！

所長	武藤 浩紀 (ロッキー)
総務チーム	
副主幹(兼) チームリーダー	小松 正典 (こまっちゃん)
主事	茂木 陽大 (もぎッチ)
技能主任	佐藤 清 (ジョニー)
非常勤職員(栄養士)	伊藤 礼子 (レミィ)
非常勤職員(技能補助)	阿部 幸悦 (師匠)
専任当直員	佐藤 悟 (ちょーさん)
専任当直員	菊池喜美夫 (きっくー)
指導チーム	
主任社会教育主事(兼) チームリーダー	矢尾 健 (やおけん)
主査(兼) 社会教育主事	北畠 良晴 (ばっけDX)
社会教育主事補(兼) シニアエキスパート	村上 友一 (むらっきー)
社会教育主事補	永澤 純二 (チエアー)
研修員	丹尾 洋樹 (ビクター)
非常勤職員(指導補助員)	今野 遥 (おじょー)
非常勤職員(スマイルサポーター)	佐藤 善樹 (よっちゃん)

令和8年度 要覧

ほろわんぱーく
秋田県立保呂羽山少年自然の家



ほろわんぱーくの「スローガン」

確かめ合おう 大切なもの
光と風と緑の中で

〒013-0561
秋田県横手市大森町八沢木字大木屋 73

TEL 0182-26-6011
FAX 0182-26-6012

E-mail horowanpark@pref.akita.lg.jp

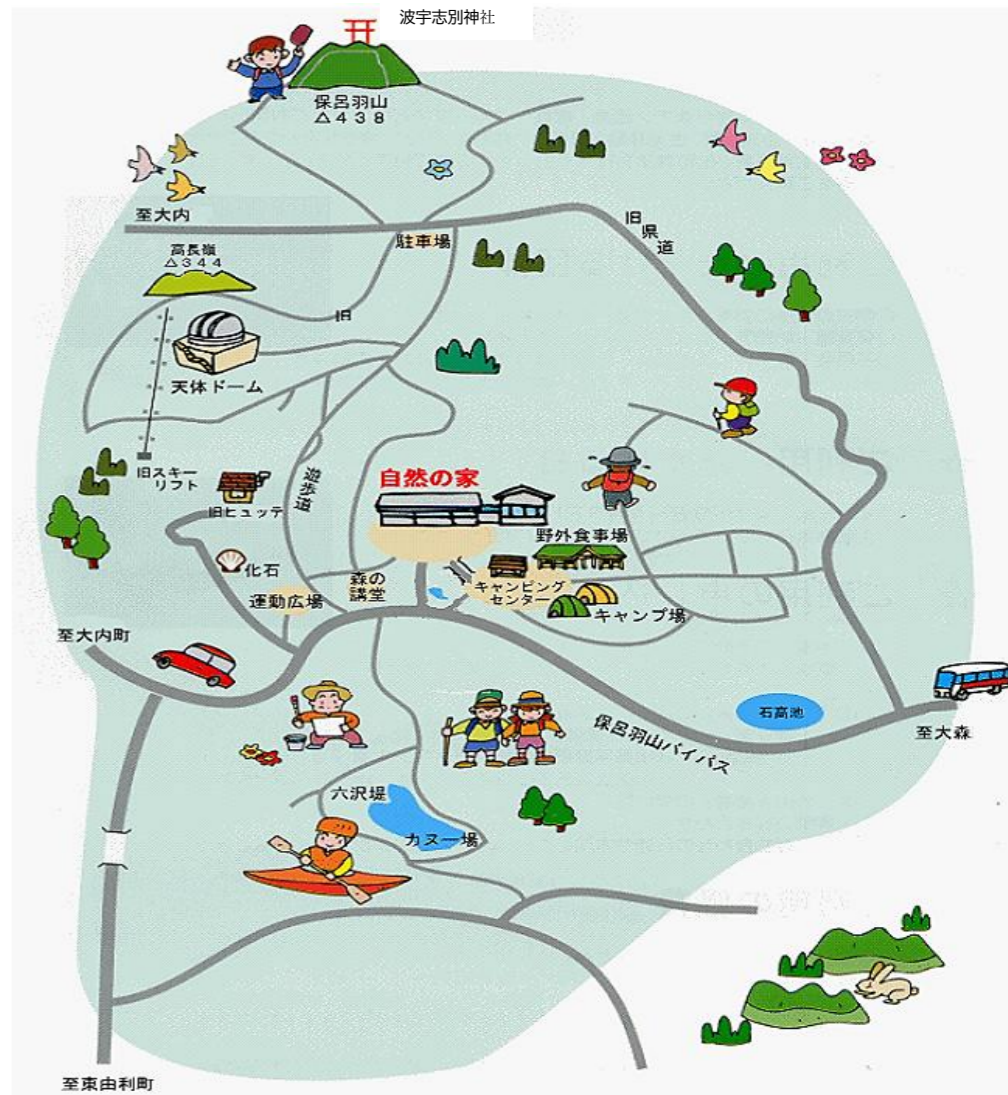
[<ホームページ>](#)



[<フェイスブック>](#)



活動マップ



施設の紹介

【館内施設】

- 宿泊室 17室
- バリアフリールーム1室
- リーダー室1室
- ★ 宿泊定員200名
- レクリエーションホール
- 研修室 ■ 食堂 ■ 浴室



【野外施設】

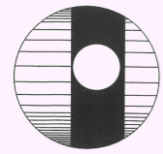
- キャンプ場 ★定員200名
- テントサイト ● 炊事場 ● 屋外食事場
- 営火場 ● トイレ
- カヌー場



【その他の施設等】

- キャンプ用具 ■ 野外炊事用具

所章・マスコット



【所章】



【マスコット】
ほろっとちゃん

保呂羽のかしら文字Hの中心に太陽、太陽のように明るい希望ある家と少年を、半円は保呂羽の羽を両翼にあらわし、野鳥のように自由で進取の気風を。横線は春風のようなさわやかさと、雑草のようなたくましさ象徴しています。広がる大自然を円でかこみ、自然と人のとけあう生活空間から野の花のように美しい心情の芽ばえることを願います。

ほほほの「ほ」（保呂羽の「ホ」）
ほ～ほ～と鳴く「ふくろう」や「コノハズク」の仲間をモチーフに、自然に親しむ子どもたちをかわいらしくイメージしています。



沿革

- 昭和 52 年 4 月 1 日 秋田県立保呂羽山少年自然の家（仮称）建築着手
- 昭和 53 年 4 月 1 日 大森町役場に保呂羽山少年自然の家事務所開設
- 昭和 53 年 7 月 1 日 定礎式並びに開所式挙行・利用団体受け入れ開始（大森町立前田小学校入所第 1 号）
- 昭和 53 年 7 月 14 日 秋田県立保呂羽山少年自然の家竣工式挙行
- 昭和 54 年 7 月 1 日 所章、所歌制定
- 昭和 56 年 7 月 14 日 利用者 10 万人達成記念表彰(大雄村立阿気小学校)
- 昭和 63 年 10 月 20 日 開所 10 周年記念式典挙行
- 平成 3 年 12 月 20 日 “希望の橋”完成
- 平成 8 年 6 月 15 日 保呂羽山少年自然の家の愛称（ほろわんぱーく）、マスコット（ほろっとちゃん）決定
- 平成 8 年 10 月 31 日 “天体ドーム”完成
- 平成 9 年 7 月 25 日 屋外食事場「スピカ」完成
- 平成 10 年 10 月 16 日 利用者 50 万人達成記念表彰(大森町立大森小学校)
- 平成 10 年 10 月 22 日 開所 20 周年記念式典挙行
- 平成 12 年 1 月 16 日 年間利用者 3 万人を初めて達成（雄物川町立館合小学校）
- 平成 12 年 10 月 30 日 バリアフリー化（階段昇降機・宿泊室改造等）完成
- 平成 13 年 6 月 25 日 保呂羽山少年自然の家バス「ほろっと号」配備
- 平成 13 年 12 月 21 日 バス車庫完成
- 平成 14 年 7 月 19 日 プロジェクトアドベンチャーエレメント新設
- 平成 16 年 9 月 2 日 “希望の橋”架替工事完成
- 平成 17 年 6 月 21 日 利用者 70 万人達成記念表彰(横手市立朝倉小学校)
- 平成 17 年 11 月 25 日 営火場改修、テントデッキ 13 基新設
- 平成 18 年 1 月 25 日 屋根（管理棟・廊下）改修工事完成
- 平成 18 年 9 月 29 日 屋根（宿泊棟トップライト）改修工事完成
- 平成 19 年 12 月 21 日 レクリエーションホール屋根改修
- 平成 20 年 11 月 7 日 開所 30 周年記念式典挙行
- 平成 21 年 12 月 12 日 利用者 80 万人達成記念表彰
- 平成 28 年 5 月 9 日 利用者 90 万人達成記念表彰(男鹿市立男鹿北中学校)
- 平成 29 年 10 月 24 日 秋田県内青少年教育施設職員研修会開催
- 平成 30 年 7 月 30 日 平成 30 年度文部科学省委託「自己肯定感向上プロジェクト」（アドベンチャー・スピリット）
- 平成 30 年 10 月 20 日 開所 40 周年記念式典挙行
- 令和 5 年 6 月 7 日 利用者 100 万人達成記念表彰(横手市立吉田小学校)

令和8年度の 経営方針

基本方針

社会教育施設として、児童・生徒はもとより幼児から高齢者まで幅広い年代層に向けて、周辺の自然環境や施設の特徴を生かした自然体験活動や研修を提供していきます。そのために、安心・安全な環境を整備するとともに、研修目的が達成できるように、利用される方々に寄り添う適切な指導・支援を行っていきます。



重点目標

1. 利用者の身体的、精神的な安心・安全を担保するリスクマネジメントの徹底
2. 幅広い年齢層を対象とした豊かな自然体験・感動体験ができるプログラムの提供
3. 施設の魅力や利用者のニーズに沿う主催事業の企画と運営
4. セカンドスクールの利用に対応するプログラムの一層の整備と支援の充実
5. 地域、民間団体及び関係機関との連携強化



重点事項

1. 少年自然の家の設立の趣旨に則った指導・支援の充実 ⇒ 利用者のニーズの把握

- 1) 体験活動は人づくりという認識のもとに、育てる意識を大切にされた指導の充実
- 2) 自然、友、非日常との出会いと、感動体験を味わわせる価値ある体験活動の提供
- 3) 利用団体の主体性を尊重し、研修目的の達成に向けた活動計画作成の指導・支援
- 4) 県の最重要の教育課題“「問い」を発する子ども”の育成に資する体験活動プログラムの構築

2. 利用者数、幅広い利用者層の拡大 ⇒ 広報活動、誘客活動の工夫

- 1) 利用者の満足度を高める魅力的な体験活動の提供とねらいや目的に応じた指導・支援
- 2) メディア、ポスター、チラシ等、多様な広報活動の展開
- 3) 各主催事業の成果を学校、一般の方新聞、情報誌等へ発信
- 4) 主催事業の活動内容の工夫・改善とセカンドスクールのプログラムの充実

3. 危機管理の徹底 ～活動中の事故の未然防止～

- 1) 施設設備の日常の安全点検及び保全
- 2) 危険箇所及び危険と予測される箇所の事前対策とその周知（野生鳥獣対策を含む）
- 3) 利用団体への安全意識の啓発と安全指導（熱中症対策を含む）

主催事業

自然の家エリア

No.	事業名	実施日(日程等)	内容	対象・人数
1	大人のアウトドア塾Ⅰ	5月16日(土) 〈日帰り〉	春の保呂羽の自然に触れたり、自然物を採取したりします。	大人及び大人を含む家族・グループ 15名程度
2	チャレンジキャンプ in ほろわ	7月30日(木)～8月1日(土) 〈2泊3日〉	2泊3日の日程で自然の家周辺の散策や鳥海山の登山等にチャレンジします。	小学4年～中学生 15名程度
3	エンジョイカヌー	8月22日(土) 〈午前・午後〉	カヌーの操作を学び、カヌー活動を楽しみます。	大人及び大人を含む家族・グループ 各20名程度
4	大人のアウトドア塾Ⅱ	9月5日(土) 〈日帰り〉	カヌー場周辺の自然に触れながら、スタンドアップパドルを楽しみます。	大人及び大人を含む家族・グループ 15名程度
5	エンジョイキャンプ	9月19日(土)～20日(日) 〈1泊2日〉	秋の保呂羽の森でのキャンプを楽しみます。	小学1年～3年生 15名程度
6	アウトドアチャレンジ	10月24日(土) 〈日帰り〉	秋の保呂羽山周辺で色々な野外活動にチャレンジします。	小学1年～6年生 15名程度

出前での事業

No.	事業名	実施日(会場)	内容	対象・人数
1	みんな森の芸術家～クリスマス工作～	12月6日(日)〈横手市〉 12月13日(日)〈大仙市〉 12月20日(日)〈湯沢市〉	保呂羽の森で採取した松ぼっくりなどの自然素材を使って、クリスマス飾りを作ります。	どなたでも 午前・午後 各30名程度
2	雪ん子体験	3月上旬 〈天下森スキー場〉	そり遊びしたり、エアーチューブを体験したりして秋田の冬を楽しみます。	幼児～大人

主な体験プログラム

野山で風を感じよう

- 保呂羽山登山
- 追跡ハイキング
- マッピングリーディング
- ハイキング



水上で風を感じよう

- カヌー体験



星の下で活動しよう

- キャンプファイヤー
- テント泊
- ナイトハイク
- 天体観測

みんなで協力して挑戦しよう

- あきたアドベンチャープログラム(AAP)

不思議体験をしよう

- 化石観察・採取
- 植物観察
- バードウォッチング
- 昆虫採集

森の芸術家になろう

- 自然素材工作
- 竹細工
- エイ風
- しおり

作って食べてみよう

- 野外炊飯(昼・夜)
- 手打ちうどん(昼)

もしもの時に備えよう

- 防災体験
- ソロキャンプ
- 火おこし